

## 謹賀新年



### 新会派でフレッシュに始動!

明けましておめでとうございます。県民皆さんの声を県政に反映していくことは議会の基本的な責務です。昨年の県議会議員改選後、私たちはこの責務を重視するとともに基礎自治体である市町村や県内各地元地域に軸足を置いた姿勢で活動することを目的に県議会内に会派「県政ながの」を設立いたしました。設立直後から、栄村を中心とする県北部地震はじめ東日本大震災の被災地である宮城県気仙沼市の現地調査をしまし

た。また将来のエネルギー対策研究の為、浜岡原子力発電所を視察するなど、行動する政策集団としての活動を始めています。

皆さんのご意見やご提言をお寄せ下さい。目前に迫る経済対策はじめ長期展望した危機管理体制まで、一緒に将来に希望あふれる長野県づくりに取り組みましょう。新しい年が皆様にとりまして輝かしい一年になりますようご祈念申し上げます。

会長 向山公人

### 阿部知事に要望書を提出 「24年度当初予算に対する要望書」



「東日本大震災、ヨーロッパの金融不安から始まった円高などが直接本県の経済、雇用に影響を及ぼし、また不安定な国政の状況など県政運営が非常に難しい時代です。しかし、このような時代にあっても、県民が明日の長野県に信頼と希望を持てるような県政運営を行うことが、県行政に求められます。特に24年度は阿部知事が手掛ける初の中期総合計画策定の年となります。県民の期待に応え、未来を展望して力強いリーダーシップを発揮されるよう要望します。」

知事からは、「新たな中期計画では、長野県の将来像について県民と共有できる目標を是非つくりたい」、「国際化は地域と地域の繋がりが大事であり、相互のメリットを認識したうえで戦略をつくりたい」などとのコメントがありました。



山口教育長、佐々木県警本部長にも要望書を提出しました。要望した全53項目は会派の重点テーマに沿ったもので、県勢発展のため必要不可欠な事項であり、来年度当初予算に反映し、早期実現を図られるよう期待します。

**「県政ながの」は県民の声を大切に**  
★各地区支部事務所は、県民の広場です。気軽にお立ち寄りください。  
★少人数のミニ集会でも県政報告に伺います。皆様の要望もお聞きし、県政に反映させます。

### 軸足を地元「長野県」に置いて

#### 会派活動は 県北部地震被災地の栄村から

平成二十三年三月十一日の巨大地震と大津波の被害の翌日、長野県北部地震が震度六強にて栄村を襲い、過去に例を見ない被害をもたらしました。議会改選後の新体制を整えた臨時議会直後の五月十九日、新会派として初の現地調査を栄村から始めました。倒壊、半壊の家屋はじめ、水道等のライフラインの応急対応など島田村長はじめ村の人々の声を六月、九月、十一月議会に反映し復興施策の充実のため応援をしています。

### 現地調査・視察



耐震改修など備えは必要ですね。



県内初の仮設住宅 55 棟建設現場

### 危機管理の原点を学ぶ ～宮城県気仙沼市を視察～

#### 自分の命は自身が守る そして助け合い



津波で大型漁船第十八共徳丸が海岸から2kmも内陸に。

九月十二日から宮城県で津波に加え大震災による被害が甚大であった気仙沼市を訪問。地震津波と火災による被災の実態、現地でのボランティア活動の支援状況、道路はじめ産業施設の復興に向けた動きなどを視察。自然災害は近年増加の傾向ですが、巨大災害は「まち」自体の存続をも脅かすという現実を目の当たりにし、まちの基盤整備と産業復興を原点に立ちかえって多くの生の声を聞いてきました。政府および県政に反映するよう進言、提案していきます。



港一帯は地盤沈下、捜索未着手の箇所も。

### エネルギー政策を考える

#### 静岡県浜岡原子力発電所を視察



原子炉のコントロールシュミレーション室

六月末には松本にて震度五強の震災があり、危機管理は県全域、県民全員で共有し、再確認すべき時にあります。原子力発電所の事故は隣県にあらうとも被害は受けません。二十四年度をはじめとする県の地域防災計画には原子力に関する対応も盛り込むことになっていきます。そこで、八月には浜岡原子力発電所を視察し、高さ十八m厚さ二mの防潮堤を千億円で整備し、福島教訓から緊急車両進入を阻害するがれき撤去の重機整備と運用訓練など、事故対応を進めている現状を確認しました。想定できる事態を限なく網羅した防災計画となるよう注視して参ります。

平成24年の新年を迎え、心より新春のお慶びを申し上げます。



昨年、3月11日に発生しました東日本大震災により、我が国は未曾有の国難に見舞われました。翌3月12日には、思いもよらぬ長野県北部栄村を震源とする震度6強という地震が発生し大きな被害を受けました。更に、6月30日には松本市を中心に長野県中部地震があり、正に自然災害の年でありました。

震災により被災された皆様方に、心から御見舞いを申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。

大きな被害を受けた栄村においても、道路、水田、山地等の復旧に全力を挙げてこれに取り組む、農山村集落の持つ機能をどのように維持・再生させるかが今後の大きな課題となっています。復興までの道

のりは決して平坦なものではないと思いますが、被災者への温かい支援を通して、私達は改めて人と人との支えあいや絆の大切さを再認識いたしました。そして、共に苦労を分かち合い、支えあって、この難局に立ち向かっていくことで、新しい社会の扉を開くことができると確信しております。

県議会では、国に対し迅速な震災復興を求める意見書を提出し、震災対応のための補正予算を可決するなど、被災地の復旧・復興に向け最大限の努力を傾注してまいりました。今後とも、震災対応並びに県内経済を下支えするための経済対策、県民生活の安全・安心の確保のため、取り組んでまいります。



10.19 北信地区スキー場安全対策協議会

## 11月定例会一般質問から

### ○栄村の復興について

●去る3月12日の地震より、既に8か月が経過した。この間、阿部知事を先頭に県職員の皆さんはじめ議員各位には、様々な形で、栄村の復旧・復興に向け迅速、かつ、きめ細やかな支援をさせていただいてきた。更には、今定例会にも、10億円の栄村復興基金を創設するための予算案及び条例案が提出されており、改めて感謝申し上げます。



10.24 阿部知事栄村視察

国においては、本格的な復興予算となる第3次補正予算が成立するなど、被災地支援も着実に強化されてきており、これにより震災復興が加速することを期待する。村では、震災復興計画の策定に向け、現在、31地区での住民懇談会を開催している。もとより、この計画は、村が主体となって策定するものだが、ぜひ県にも積極的に参画していただき、引き続き住んでいたいと思える栄村、また、被災前よりもよくなったと感じられる栄村となるよう、引き続きの御支援を、阿部知事をはじめ県職員のみなさんをお願いするとともに、議員各位におかれては、今回の予算案、条例案に御賛同いただくようお願いする。

栄村は日本有数の豪雪地帯。災害復旧工事の進捗と今後の見通しについて建設・農政・林務部長に伺いたい。

(建設部長)道路や橋梁災害では78カ所の災害査定を受けた。復旧工事については8カ所が完了、42カ所が施工中、5カ所は施工に向け準備中。残り23カ所は冬期閉鎖区間のため来春までに発注する。降雪期に向かい除雪の妨げにならないように段差の解消工事等を行っている。現在発注している箇所の本格復旧については、来年の雪解け後の工事となる。

(農政部長)進捗状況は、復旧工事の必要な水田848枚中46%にあたる387枚の復旧が完了。本格的な降雪の前には全体の7割が完了するものと見込んでいる。残る3割については、雪解け後速やかに工事を再開し、来年の作付けに間に合わせる予定。水路・農道の本復旧は来年度になるが、仮復旧により作付けまでには全域で通水・通行が可能になる予定。

(林務部長)緊急に治山対策を必要とする4カ所については、災害関連復旧

治山事業に取り組んでいる。特に大規模な山腹崩壊により河道が埋塞した中条川については、埋塞部は開削が完了し、下流への土砂流出の勢いを弱める工事についても年内に完成する予定。降雪期に向けて雪崩や融雪による災害発生への警戒対策として積雪量・融雪量を継続的に観測し、気象状況を注視する態勢を年内に整備し、住民・工事現場の安全に万全を期す。

### ○森林づくり県民税について

(知事)継続するとすると遅くとも来年9月定例会に条例案を出す形になる。時期を失することの無いように判断していきたい。

### ○自衛官の県採用について

(知事)来年度から配置し、危機管理・防災体制の充実強化を図っていきたい。

### ○飯山新校の準備状況について

●飯山新校にかかる事業実施予定は。

(教育長)工事は順調に進んでいる。これらの第1期新校舎の建設工事については、平成25年10月の完成を、更に第2期工事としてスポーツ科学科棟の平成27年11月完成を目指している。城北グラウンド等の利用については、現在飯山市及び両校統合準備委員会と整備の時期等について検討中。

●現飯山高校跡地の利用、飯山市の給食センターを含む旧飯山市立第二中学校の跡地の取得と城北グラウンドの改修、市道の付け替え、生徒の教育環境の保障、飯山市の要請をどのように進めていくか。

(教育長)施設整備に関しては、現在飯山市と事務レベルで協議中。改修工事の時期や期間については、中学生や高校生の教育環境に配慮し、また飯山市の意向を踏まえながら検討していきたい。

### ●新寮の整備について

(教育長)現在の入寮状況は男女寮ともに半数以下。統合校との位置関係や、築20年の比較的新しい寮であることを勘案し、既存施設の有効活用を含め総合的に検討をしている。



10.3 農政林務委員会



9.7 こんにちは県議会です

## 県政報告会を栄村で開催しました

栄村北野温泉にて、県政報告会をさせていただきました。年末の冬支度や、震災後の後片付け等もあり、何かとお忙しいなか、70余名の皆様にお集まりいただきました。先日閉会した11月定例会の報告、震災の復旧状況等をお話し、また皆様のご意見も伺いました。



12.12 栄村県政報告会



10.14 飯山市高齢者スポーツ大会



11.13 戸狩満喫御膳発表会